

ふくい地域

北から南から

大石地区歴史学んで

坂井 住民が児童に授業

坂井市大石小学校で十三日、地域の歴史や言い伝えを学ぶ授業があった。大石地区まちづくり協議会の藤田芳一さん(セミ)が、地区内にある「汗かき地蔵」(西



地区の名所について児童たちに話す藤田さん(奥)＝坂井市大石小学校で

長田)と「紀倍神社のオニヒバ」(木部西方寺)について話し、三年生三十九人がメモを取りながら耳を傾けた。

地域に愛着を持ってもらう総合的な学習の一環。藤田さんは、地図や写真を使いながら講義。市有形民俗文化財の汗かき地蔵は、災難の前触れとして汗をかきという言い伝えがあり「福井地震の前にも汗をかいたといい、村の人たちが大事にしてきた」と説明した。

オニヒバは県指定天然記念物。昔、住んでいた鬼を七人の僧が退治し、胴体を埋めたところに植えたヒバが育ったと言われている。現在生えているのは二代目で、樹齢四百年以上と紹介した。

野坂康太君(九)は「知らなかった話があって楽しかった」と話した。三年生は今後、名所を盛り込んだすぐろくを作り、二年生に地区のことを教える。(坂本碧)

ニュース 編集局

電話 0776-28-8613

FAX 0776-28-8616

MAIL henshu@kenmin-fukui.co.jp

購読 読者センター

電話 0776-28-8619

FAX 0776-28-8602